

The Just Postgraduate Course

●受講生の方々の声（抜粋）

■受講生Aさん

私は仕事を始めてからずっと、いろいろなセミナーに可能な限り出席してきましたので、このセミナーにも参加してみようと思い受講しました。しかしポストグラデュエートという題名から、正直あまり学ぶことは無いだろうと思っていました。受講前の私は自分の診療にある程度の自信を持っていましたし、ましてや今更ベーシックなんて馬鹿げているが、自分の診療に対する確認のために受けようというスタンスだったので。

そして受講してみてわかったことは、自分はベーシックなことですらしっかり出来ていなかったということでした。レントゲンの見方、治療方針などにおいて、元先生と自分を比較すると、自分はまったく浅く考えていたことに気が付き、反対に元先生の物の見方や考え方に影響を受けました。『今、ベーシックをしっかり勉強し直し、アドバンスに繋げていく』こう思えたことが私にとって最も価値がありました。最後に受講を考えている先生方に言えることは、本セミナーは決して初心者向けの簡単な内容では無いということです。私達が毎日当たり前のように行っている治療を、元先生のような上級者がどの様に考えて行っているのかを教えてくれるセミナーであり、聞いた直後から自分の臨床に取り入れやすいというメリットがあります。

以上が私の偽らざる感想です。長文になってしまい失礼致しました。今後ともよろしくお願い致します。

■受講生Bさん

受講しての感想として

自分の歯科臨床を一から見直せたこと。

基礎を大切にすることで、臨床の幅が広がったこと。

10,20,30年症例をもとに納得のいく指導を受けられること。

エンド治療に根拠を持って望めるようになったこと。

1本の歯を長期で残すことへの方法を教えて頂いたこと。

医療人としての考え方、理念を教えて頂いたこと。 といったところでしょうか。

一期生として今後もこのコースを盛り上げていきたいと思っております。

僕はこのコースを受講し歯科医師としての人生が変わったと本気で思っております！

後輩にも伝えておりますので、コース受講の際はよろしくお願い致します。

The Just Postgraduate Course 4ヶ月8回コース（コーススケジュールは別紙参照）

●申込方法

以下の申込書をご確認の上、申込書の記入欄にご記入後、担当営業員にお渡し頂くか、FAXにてご送付後、申込金を指定口座へお振り込みください。

ご入金のご確認をもって正式受付とさせていただきます。なお、お申込の際には事前に空席状況をご確認ください。

●注意事項

- 申込金は受講費に充当されません。
- お振込み後、キャンセルによる返金は致しかねますので予めご了承ください。
- 受講費はコース運営費となるため、欠席された場合でもご入金が必要となります。
- 欠席による返金はございません。
- 振込手数料はお客様のご負担をお願いいたします。
- 各金融機関の振り込み明細表をもって、領収証にかえさせていただきます。

臨床の礎となる重要ポイントを学び直す8日間

1本の歯を出来る限り長く残す医療の実践をされてきた元永三先生が、持てる知識と技術を余すことなく伝授し、受講された方々の日々の臨床がステップアップするお手伝いをさせていただきます。

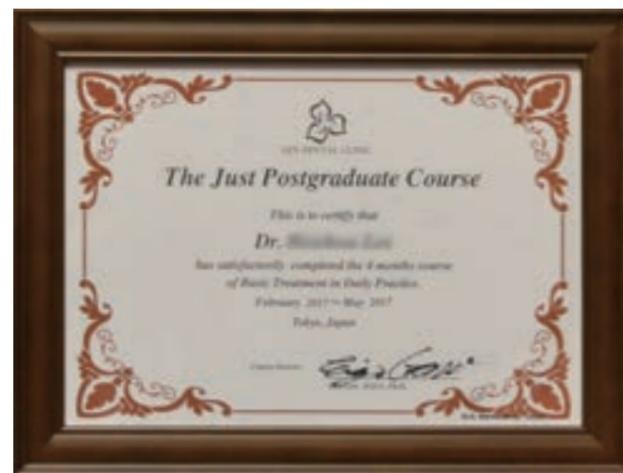
エンド治療を中心に、もう一度基礎的な臨床技術を学びたい先生方におすすめのコースです。



The Just Postgraduate Course

コース内容

- オリエンテーション
 - ①医療人としての歯科治療について
 - ②出来る歯科医師になるための向上道
 - ③1本の歯を大切にそして確実に治療するための概念
- 診断
 - ①規格的デンタルX線撮影法(デモ、実習)と診断法
 - ②規格的口腔内写真撮影法(デモ、実習)と診断法
 - ③規格的の研究用模型採得法と咬合器付着法(デモ、実習)
- 歯内療法
 - ①歯内療法の概念と診断
 - ②無痛治療のための麻酔法
 - ③短時間で終える効果的抜髄法
 - ④効率よい拡大と歯質保存を兼ねた根管口明示法(デモ、実習)
 - ⑤エンドメーターの確実な活用法
 - ⑥拡大器具の適切な選択と効果的な使用法(デモ、実習)
 - ⑦短時間で終える確実な根充法(デモ、実習)
 - ⑧抜髄根管治療と感染根管治療の違い
 - ⑨急性化させない(腫れない、痛まない)治療法
 - ⑩ピタベックス活用法
 - ⑪歯根嚢胞の歯内療法的治療法と外科的治療法
 - ⑫外科処置の適応症と術式
根尖搔爬、歯根端切除、外科的挺出、再植
- ポストコア
 - ①歯を守るためのポストコアの概念
 - ②メタルポストコア形成法、印象、作成、合着(デモ)
 - ③レジンポストコア直接法と間接法(デモ)
- セラミックインレー・アンレー・クラウン
 - ①セラミックの材料の選択
 - ②セラミック特有の形成法
 - ③セラミックの印象法;直接法と間接法、CAD/CAM
 - ④セラミックの接着法
 - ⑤咬合調整法
- 全顎治療の診断と治療計画立案
- 効果的なインフォームド・コンセント法
デンタルイノベーションソフトの活用法



コース修了証



確実な歯内療法のために

- ラバーダムの使用目的?
- 根管口明示の意義?
- 根管長測定はリーマー+デンタルX線?
- エンドメーターは信頼できるか?
- 根尖孔の位置は?
- 抜髄にマイクロは必要?
- 拡大はエンジンかハンド?
- エンド△は削合?
- プレカーブは必要?
- 拡大器具はKかHかNi-Tiファイル?
- 拡大の方法は何形成?
- 拡大は何号まで?
- 完全抜髄は可能か?
- 根管洗浄は必要か? また洗浄剤は?
- ペーパーポイントの役割?
- 貼薬の必要性と種類?
- ファイルサイズとGPポイントのサイズは一致?
- 側方加圧根充か垂直加圧根充?
- アクセサリーポイントは必要?
- 側枝まで根充?
- 穿孔を起こさない方法?
- 感染根管は全て再治療が必要?
- 感染根管治療の難易度は透過像の大きさ?
- 痛くない感染根管歯が何故急性化するの?
- 感染根管の根尖孔は何処?
- 感染根管治療はファイルを根尖孔外まで?
- オーバーとアンダー根充?
- ピタベックスの正しい使い方?
- 根充の時期と基準は?
- 根充後、コア・クラウンは何時行う?
- 感染根管の治療像は?
- MTAは必需品?
- 歯根端切除は必要か?
- 何処まで根切するのか?
- 歯根嚢胞は根切すべき?
- 歯根嚢胞は外科手術のみ治療可能?
- 外科手術後の空隙に補填剤は必要?
- 再植の適応症と方法?

近年、審美歯科・歯周補綴・インプラント・歯周形成外科・再生療法など、高度な治療に関する情報が目白押しです。そうした新しい歯科医療に熟達しなければ、将来生き残っていけないのではないか、そのような空気が充満しています。たしかに、技術を磨き経営能力をつけなければ、生き残れない時代が近づいているのは事実でしょう。しかし基本的な臨床技術をおろそかにしたまま、様々な高度な臨床技術を学んだとしても、身につかないばかりか、かえって大きなリスクを背負うことになりかねません。かつては、臨床の基本的な技術は、教育や勤務医生活を通じて、いわば徒弟的な環境のなかで自然に会得するものでした。そのようなチャンスのない現在、少しでも皆様にお役立て頂ければという思いから、この企画は生まれました。



コースディレクター
元 永三先生

- 1982年 九州大学付属病院第一補綴科勤務
- 1987年 福岡市にて開業
- 1996年～ WBC (Won's Basic Course) 主宰
- 1999年～ BDPG (Basic Dental Practice Group) 主宰
- 2000年～ JPGC (Just Post Graduate Course) 主宰
- 2002年～ 九州大学歯学部臨床教授

受講生の特典

- 随時質問症例検討会
難症例、悩み症例、トラブル症例の対処法
- 研修症例発表会
前歯・小臼歯・大臼歯の治療前後のデンタルX線
- 各ステップ毎の課題やテーマチェック
課題やテーマをチェックしながら未習部分を個別に改善
- 卒後症例検討会(OB会)で症例相談・発表・親睦を行う
卒業生主催で福岡・東京・ソウルで年1回開催
- 卒業生は何度でも無料で再受講できる
福岡・東京・ソウルどこでも受講可能

